

ITO FIRE DEPT INFORMATION



九度山町出初式

Contents

- P 2 消防長挨拶、感謝状贈呈、全国消防救助技術大会、消防職員意見発表会
- P 3 令和8年春の火災予防運動、一日救急隊員、橋本市消防団高野口方面隊との合同訓練
- P 4 林野火災注意報・林野火災警報の新設
- P 5 感震ブレーカー、リチウムイオン電池火災にご注意ください、防火管理者講習のお知らせ
- P 6 新人紹介、救命入門コース
- P 7 令和7年消防白書、年間行事、新消防車両紹介
- P 8 令和7年防火標語及び防火ポスター入賞者

消防長挨拶

高野の峰々に残る雪も解け、紀の川のせせらぎに春の訪れを感じる季節となりました。管内住民の皆様におかれましては、平素より当組合の消防行政に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちが暮らすこの伊都地方は、世界遺産をはじめとする悠久の歴史と、柿や桃などの実り豊かな自然に恵まれた美しい地域です。しかしながら、急峻な山々に囲まれ、中央を大河が流れるこの地形は、ひとたび牙を剥けば風水害や土砂災害といった大きな脅威となります。また、高齢化が進む当地域においては、救急需要も年々増加の一途を辿っております。

こうした地域特性を踏まえ、私たち伊都消防組合では、山岳・水難救助技術の高度化や、地域医療と連携した救急体制の充実に全力を注いでおります。災害発生時には、複雑な地形や環境に即応できる強靱な消防体制こそが、皆様の命綱になると確信しております。

来る新年度におきましても、この伝統ある地域と皆様の穏やかな暮らしを守り抜くため、職員一丸となって「災害に強い、安心で安全な伊都」の実現に邁進してまいります。結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

消防長 寺垣内 守

感謝状贈呈

令和7年2月24日、かつらぎ町内で発生した建物火災において、林育央様が消火器を使用し初期消火を行ったことにより、火災の被害が最小限に抑えられました。

この功績を称え、当消防本部から林育央様に感謝状を贈呈させていただきました。林育央様は過去にも消火器を使用したことがあり、消火器の重要性や必要性を十分に理解していました。

住宅用消火器は、各ご家庭に設置していただきたい初期消火用具のひとつです。火災は「ちょっとした火」から一気に広がるが多く、初期の対応ができるかどうかで被害の大きさが大きく変わります。大切なご家族と住まいを守るため、万が一に備えて住宅用消火器等の設置をしましょう。



林育央様と寺垣内消防長

全国消防救助技術大会

令和7年8月30日、兵庫県立広域防災センターで開催されました、第53回全国消防救助技術大会に、当消防本部から和歌山県代表として松本消防副士長が出場しました。

この大会には、全国の消防本部から約千人もの消防吏員が出席する中、見事、入賞しました。常日頃から「安全・確実・迅速」を基本として訓練に取り組んできた成果だと思えます。

皆様の生命・身体・及び財産を守るため、これからも業務に取り組んでまいります。



松本消防副士長

消防職員意見発表会

令和7年10月18日、和歌山県下消防職員意見発表会に、当消防本部から森本消防副士長が出席しました。

防火管理講習の中に救命講習を組み込むことで、より多くの命や財産を守ることができると考え、「防火救急計画」と題して発表し、県内各消防本部の代表者17名の消防職員が出席する中、見事、最優秀賞を受賞しました。

令和8年4月22日に福井県で開催される東近畿地区消防職員意見発表会に和歌山県代表として出場します。

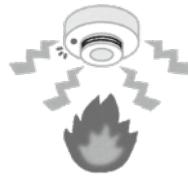


森本消防副士長

令和8年 春の火災予防運動

3月1日(日)から7日(土)は、春の火災予防運動です。この時期は、空気が非常に乾燥し、火災が起こりやすくなります。火の取り扱いには十分に注意し、火災のないまちづくりのため、地域・職場・家庭などで話し合い、一人ひとりの防火意識を高めましょう。

⚠️いのちを守る10のポイント



★4つの習慣

- ・ 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ・ ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ・ こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ・ コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

★6つの対策

- ・ 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ・ 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ・ 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- ・ 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ・ お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ・ 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

一日救急隊員

毎年9月9日は「救急の日」と定められており、救急の日を含む1週間を救急医療週間としております。この週間に紀北分院のスタッフの方々に「一日救急隊員」として、救急車に同乗していただきました。出動以外の時間には、救急訓練、放水訓練、救助訓練など伊都消防職員と共に様々な訓練を経験していただきました。



救助訓練



救急訓練



放水訓練



辞令書交付

橋本市消防団高野口方面隊との合同訓練

令和7年7月6日に橋本市消防団高野口方面隊との合同訓練があり、礼式訓練及び林野火災想定訓練を実施しました。

近年多発している大規模な林野火災を想定し、当消防本部と橋本市消防団高野口方面隊の連携活動の更なる向上を図りました。

伊都消防管内は山間地が多いため、定期的に消防団との合同訓練を実施し、いつ起こるか分からない火災に備えていきます。



放水訓練



礼式訓練

林野火災注意報・林野火災警報の新設

令和7年2月、岩手県大船渡市で発生した林野火災では、林野や住宅が焼失するなど甚大な被害が発生しました。このような被害を未然に防ぐため、林野火災予防を目的として伊都消防組合火災予防条例を改正し、令和8年1月1日から「林野火災注意報・林野火災警報」の運用を開始しました。



【林野火災注意報】

林野火災の予防上、注意を要する気象状況になった際に「林野火災注意報」を発令することができることとなり、「火の使用の制限」について、罰則の伴わない努力義務が課せられます。

【林野火災警報】

林野火災の予防上、危険な気象状況になった際に「林野火災警報」を発令することができることとなり、「火の使用の制限」について義務が課せられ、違反した場合は30万円以下の罰金又は拘留に処することが消防法で定められています。

※林野火災注意報、林野火災警報発令期間は全国的に林野火災が多い、毎年1月～5月です。伊都消防組合管轄区域全域が対象となります。

【火の使用の制限】

- 山林、原野等において火入れをしないこと。
- 煙火を消費しないこと。
- 屋外において火遊び又はたき火をしないこと。
- 屋外においては、引火性又は爆発性の物品その他の可燃物の付近で喫煙をしないこと。



- 山林、原野等の場所で、火災が発生するおそれが大であると認め伊都消防組合管理者が指定した区域内において喫煙しないこと。
- 残火（たばこの吸殻を含む）取灰又は火粉を始末すること。

【林野火災注意報の発令基準】

次の①または②のいずれかの条件に該当する場合に発令されます。

- ① 前3日間の合計降水量が1mm以下かつ前30日間の合計降水量が30mm以下の場合。
- ② 前3日間の合計降水量が1mm以下かつ乾燥注意報が発表された場合。

※ 当日に降水が見込まれる場合や積雪がある場合には、発令しないこともあります。

【林野火災警報の発令基準】

林野火災注意報の発令基準に加え、強風注意報が発表された場合となります。

【林野火災注意報・警報発令に伴う広報】

林野火災注意報が発令された場合は、消防本部車両での巡回広報に加えて、消防本部ホームページでのお知らせを実施します。林野火災警報が発令された場合は、消防本部車両での巡回広報に加えて、消防本部ホームページ、橋本市、かつらぎ町及び九度山町の防災行政無線（戸別受信機）でのお知らせを実施します。

【火災と紛らわしい煙又は火災を発するおそれのある行為】

火災と紛らわしい煙又は火災を発するおそれのある行為（たき火を含む。）を行う際には火災予防条例第45条に基づき、消防への届出が必要です。林野火災注意報が発令された状況では屋外での火の取扱いを控えましょう。また、林野火災警報が発令された状況では実施しないようにしましょう。



「感震」

ブレーカーで地震火災を防ぐ

地震による火災の原因の過半数は電気に起因するものとされています。

東日本大震災では発生した火災111件の内、原因が特定されたものは108件であり、その内の54%が電気火災でした。

地震による電気火災とは、地震の揺れによって電気機器が転倒、破損することによる出火や、停電後に電気が復旧した際に発生する通電火災などを指します。このような、火災の対策として、**感震ブレーカー**の設置が効果的です。

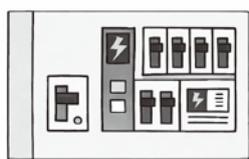
感震ブレーカーとは、地震の揺れを感知し、自動的にブレーカーを遮断することで、通電火災の発生を防ぎます。

また、避難経路の確保のために建物の耐震化や家具の固定などの震災対策と合わせて取り組むことで、より高い防災効果が期待できます。

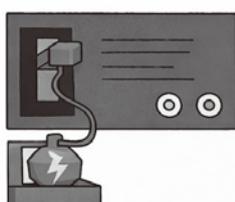
地震による火災の様々な出火原因

- 地震により、洗濯物などの可燃物が電気ストーブに接触し出火
- 転倒した家具の下敷きとなった電気配線が損傷しショートして出火
- 漏水により室内が水浸しになった住宅で復電直後に出火

※感震ブレーカーは震度5強程度の揺れを検知すると、自動的に作動し電気を遮断します。



分電盤タイプ
(内蔵型・後付け型)



簡易タイプ



コンセントタイプ



リチウムイオン電池 火災にご注意下さい。

リチウムイオン電池は落下などの衝撃、高温環境下での使用などにより、電池内部で異常な電流や発熱がおこることがあります。この状態になると、突然発火したり、激しく燃え上がる危険性があります。



モバイルバッテリー



携帯ゲーム機



パソコン



電動工具



スマートフォン



電気カミソリ



電動歯ブラシ



電子タバコ



ワイヤレスイヤホン



スマートウォッチ

出火を防ぐポイント！

- 製品に衝撃を与えない
- 長時間の充電をやめる
- 充電中に熱くなるなど異常がある場合、使用をやめる
- 製造会社が指定する充電器やバッテリーを使用する
- 熱のこもりやすい場所に保管しない



防火管理講習のお知らせ

伊都消防組合消防本部では、(二財)日本防火・防災協会主催で「甲種防火管理新規講習会」を次の日程で2日間にわたり、開催する予定です。

【日程】令和8年6月24日(水)～25日(木)

【場所】かつらぎ総合文化会館

詳しくは、消防本部予防課までお問い合わせください。

☎0736-22-0119

新人紹介

令和7年4月に伊都消防組合の職員として採用された7名の消防士です。

令和7年4月に7名の新規採用職員が当消防本部に採用されました。和歌山県消防学校で6カ月間の初任教育を経て、消防士としての知識や技術だけでなく、公務員としての規律を学び当消防本部に帰ってまいりました。

「地域の皆様の安心・安全を守るため、日々の訓練や業務に全力で取り組みます。まだまだ学ぶことばかりですが、先輩方のご指導のもと、1日でも早く信頼される消防士になれるよう努力していきます。」

新規採用職員7名は現在、訓練を通じて体力や技術を鍛え、チームワークを深めながら、日々成長を続けています。



左から・中林未来・中本大雅・澤本尚哉・森本陣太郎・橋本翔輝・浅山明澄良・池田星瑠空

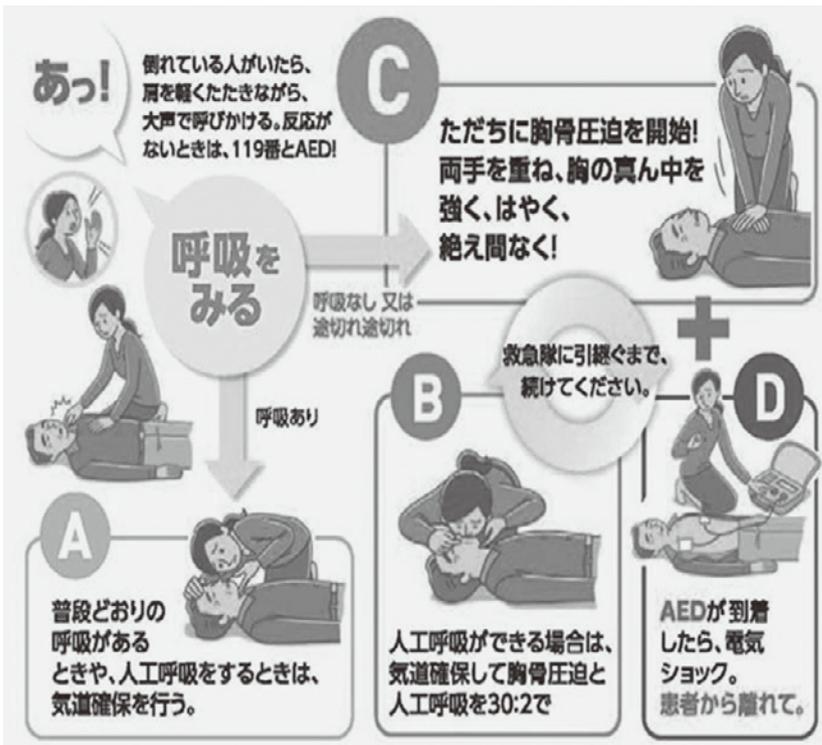


あなたの「勇気」が命を救う！
救命入門コースを受講しましょう

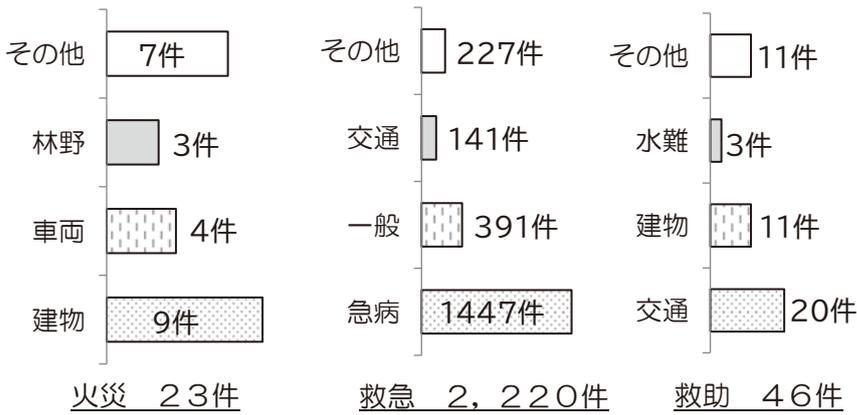
日本では毎年約7万人以上の人が突然心臓が止まって亡くなっています。いつ、どこで、そばにいる人が倒れ、心肺停止になるかわかりません。救急車が到着するまでの間に、心肺蘇生法を行えば、助かる可能性がグッとあがります。大切な家族や仲間、また従業員がおられる事業所や学校、福祉施設などに携わる皆さんは、ぜひ「救命入門コース」を受講して、一人でも多くの方が勇気を出して心肺蘇生法を出来るようになりましょう！

申込みに関するお問い合わせは、伊都消防組合消防本部救急係までお問い合わせください。
☎073612210119

心臓疾患による突然死は、皆さんで防げます！



伊都消防組合消防白書



《火災》

火災件数は、23件で前年より12件増えており、火災種別をみると、建物火災が9件で全体の39%を占めています。

出火原因では、たき火や電気機器が多い傾向にあります。

《救急》

出動件数は、2,220件で前年より8件増えており、出動種別をみると急病が1,447件で全体の66%を占めています。

- ・医療機関に収容した傷病者 2,095人
- 内、65歳以上の高齢者 1,619人

《救助》

出動件数は、46件で前年より12件増えており、出動種別をみると交通事故が20件で全体の44%を占めています。

内、活動件数は28件で、前年より9件増えています。

	かつらぎ町	高野口町 橋本市	九度山町	管外	合計
火災	15	4	4	0	23
救急	1,135	757	316	12	2,220
救助	28	13	5	0	46

令和7年の主な行事

- 一月 ・ 消防出初式
- ・ 文化財防火デーに伴う重要文化財の予防査察及び消防訓練
- 二月 ・ 阪和長野消防総合訓練
- ・ 春季全国火災予防運動
- ・ 住宅防火訪問
- ・ 新消防車両運用開始
- ・ 感謝状贈呈
- 四月 ・ 伊都消防救助技術指導会
- ・ 危険物安全週間
- 五月 ・ 和歌山県消防救助技術大会
- ・ 消防業務研究発表会
- 七月 ・ 全国消防救助技術大会
- ・ 救急の日及び救急医療週間
- 九月 ・ 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練（奈良県）
- 十月 ・ 和歌山県下消防職員意見発表会
- 十一月 ・ 秋季全国火災予防運動
- ・ 住宅防火訪問
- ・ 幼年消防クラブ防火イベント
- ・ 防災フェスタ
- ・ 移動タンク路上検査
- 十二月 ・ 年末火災特別警戒

新消防車両紹介

令和7年3月に運用を開始した水槽付き消防ポンプ自動車です。

この車両には1,500Lの水を積載していることに加え、最新の資器材を備えており、火災現場に直近して効果的な消火活動を行います。

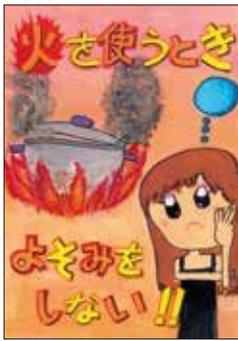
側面シャッターには水の神である龍のイラストを配しており水を自在に操り、地域を守る存在としての「消防士の覚悟」と「力強さ」を表現しています。

子どもたちが「かっこいい。」と感じるデザインを目指し、将来、消防士を志すきっかけになることを期待しています。



令和7年防火標語及び防火ポスター入賞者

防火ポスター 優秀賞



笠田小学校
西谷 萌々那さん



浜田小学校
松田 弥央菜さん



浜田小学校
阪井 相介さん



妙寺小学校
中村 桃也さん



妙寺小学校
濱田 智心さん



妙寺小学校
平岡 由梨さん



高野口小学校
小竹 健介さん



高野口小学校
藤本 美沙音さん



応其小学校
上野 望紗さん



応其小学校
中平 希歩さん

防火ポスターは優秀賞を掲載しています。
※他にも優良10点、入選25点が入賞しています。

防火標語 最優秀賞

備えよう 知識・消火器 けいぼう器

笠田小学校 岩本 大知さん

優秀賞

火の用心 みんなの未来 大切に
妙寺小学校 岩井 晴之輔さん
「知らんけど。」その一言で 火事になる
大谷小学校 山田 琉友さん
ながら家事 スマホ見てたら 手元火事
浜田小学校 辻 翔真さん

声かけて みんな安心 火の用心
浜田小学校 江口 翔さん
火の用心 あなたが守る つなぐ未来
笠田小学校 中野 楓さん

佳作

小さな火 ゆだん一つで 命とり
妙寺小学校 櫻井 菜月さん
火のしまつ だいじな家族 守るため
妙寺小学校 梅田 陽妃さん
火のしまつ 少しのゆだんが 火事のもと
妙寺小学校 松本 幸祐さん
火の始末 再度確にん 火の用心
妙寺小学校 山本 記美代さん
もう一度 確認しよう 消しわすれ
妙寺小学校 岡本 知優さん
火を消そう 少しのゆだんが 命とり
大谷小学校 草田 悠希都さん
最後まで せきにな持とう 火の始末
浜田小学校 東岡 春瑠さん
消したはず その思いこみ 火事の元
浜田小学校 長岡 花歩さん

消したかな もう一度かくにん 火のしまつ
浜田小学校 西村 姫菜さん
未来へと みんなでふせごう 火事のもと
笠田小学校 中川 詩織さん
火のしまつ しっかり確認 もう一度
笠田小学校 大浦 渚さん
ぼくの手で 守るよ家と みんなの命
笠田小学校 丸山 麗生さん
「消したはず」 迷うくらいなら 確かめて
応其小学校 畑中 彩凜さん
ボクの町 火事を出さない みんなの力
応其小学校 日浦 優和さん
火をとめて 確認しよう 習慣に
応其小学校 杉本 陽葵さん